

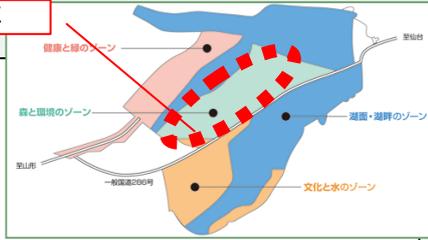
「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、公園区域中央、釜房湖に突き出した部分にある雑木林とスギ・ヒノキなどの植林地で構成された里山です。

「人と自然のふれあい」をメインテーマとして、平成26年春の開園を目指しています。これまで、ツリーハウスづくり、樹林地管理や観察会など、さまざまな活動を行ってきました。

今年度は、開園を目指して、「里山遊び塾」・「里山育て塾」・「里山発見塾」の3つの活動を行っていきます。

里山地区



ツリーハウスの仕上げ作業

6月1日（土）晴れ

ファーストデッキの階段の固定とセカンドデッキの手摺の補強を行いました。



6月15日（土）雨のち曇り

デッキ裏のゲートに取付ける看板を作りました。事前に作ってきた木製の切文字を根曲がりのスギに打付け看板としました。



6月8日（土）曇り時々雨

セカンドデッキからツリーハウスにあがる階段を作りました。15cm程のスギ丸太の皮をむき、段の高さに合わせ、切り込みを入れたところに、角材をはめ込みビスで固定しました。



6月22日（土）曇り時々晴れ

ツリーハウスは、セカンドデッキの手摺の補強を終え、次にサードデッキに手摺の支柱を建て始めました。セカンドデッキの手摺同様に羽子板ボルトで支柱を固定しています。



ピザ釜づくり

6月1日(土) 晴れ

ピザ釜は、レンガと耐火モルタルを用いてアーチ状に積んで作ることが多いのですが、今回は自然素材にこだわり、石材と里山で採れる粘土を使って作ろうと考えています。

使う石は、秋保石という地元産の石です。秋保石は耐久性や耐火性に優れ、軽量で比較的加工が容易であることから大正から昭和初期にかけて、広く建材として使われた凝灰岩です。

今回は、石材の運搬を行いました。このような時には、里山の狭い園路でも走行可能な運搬機が活躍します。今回運んだ石は、ピザ釜の土台に使う板石と積み石として使う端材の2種類で3往復してようやく全ての石を運び終えました。



6月15日(土) 雨のち曇り

端材の部分も有効活用するため、まずは大きさに仕分け、一定幅になるよう切り分けていく作業を行いました。



6月22日(土) 曇り時々晴れ

ピザ釜の作業は、土台の部分がある程度できたところで、その外側に屋根をかけるための柱を建てる作業を行いました。



スギの伐倒

6月22日(土) 曇り時々晴れ

板材をとるため、直径 50cm 程のスギの伐倒を行いました。込み入ったスギ林で伐倒方向は限られていましたが、狙い通りの位置に倒すことができました。

今の時期のスギは十分に水分を含み、びっくりするほどきれいに皮をむくことができます。

